名古屋 メーカーH2実勢値33.5～35.0どころで強含み維持で下旬へ

（名古屋）名古屋地区の鉄スクラップ市況は強含み様子見気配で月下旬入りの公算と見られている。地区電炉筋は14日から15日にかけて、通算４回目の購入価格引上げを一巡させており、Ｈ２実勢値は３万3,500～３万4,500円どころ中心に、上値３万5,000円どころとしている。

東京製鉄田原の断続上げがけん引する形で前月末から、今月央までにＨ２ベースで４回計4,000円幅での値上げである。輸出市場の停滞から湾岸港の集荷価格は上げ渋っているが、地区電炉の粗鋼生産は高水準にあり、消費増から各社の引合いは堅調を維持しており国内高、輸出安の市況展開が続いている。東鉄は18日から西日本３拠点の購入価格500円上げを実施しているが、田原と宇都宮は据置いた。

半月余りの間に4,000円方の値上がりとなり、市況は３年ぶりに３万5,000円見当の高値圏へ上昇していることから、業者間には既に値ごろ感の見方も広がる格好にあるため、様子見ながらも出荷への姿勢にある。ただ、発生薄から業者ヤードの入荷は芳しくなく、電炉筋足元の入荷は消費見合いも在庫が積み上がるケースには至っていない模様であり、需給関係はなお引締まった状況ではとの見方である。

可鍛材相場は一般ヘビー急騰で4.0方上伸し強基調

（名古屋）可鍛材相場は前週14～15日の電炉値上げでさらに1,000円方値上げが広がっている。扱い筋の仕切り値は業者ヤード持ち込み（上物）３万6,500～３万7,500円、同（並物）３万4,500～３万5,500円どころ。

可鍛材は落ち着いた荷動きとなっている。溶断工場などからの発生は少ないながらも一定のペースを保っており、業者筋の入荷は安定している。

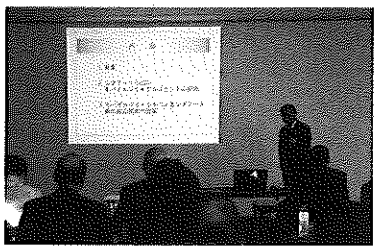
一方、鋳・可鍛メーカーの操業率は自動車や工作機械、建設機械、金型関連などを中心に好調感を維持。そのため需要は堅調に推移しており、業者筋では12～22㌢前後の上物で品不足との声が聞かれ、需給タイト感が続いている。

相場は前月下旬以降４回の電炉建値改定で4,000円方値上がりし、強基調で推移している。

レアメタル資源再生技術研究会「オープン合同分科会」に87人

（名古屋）レアメタル資源再生技術研究会は17日、岐阜県各務原市のテクノプラザで「レアメタル資源再生技術研究会　オープン合同分科会」を開き、87人が参加した。

この分科会は「広域マルチバリュー循環とモバイル・ファインケミカル・リサイクル＝世界的なEVシフトに向けたレアアース資源循環の提案」をテーマに、物質・材料研究機構原田幸明氏の「広域マルチバリュー循環におけるモバイル・ファインケミカル・リサイクルの意義」、エマルジョンフォロー法分科会長縄弘親幹事「ファインケミカル・リサイクルを可能とするエマルションフロー抽出技術」、シーエムシー技術開発河邊憲次社長「廃ネオジム磁石からのレアアース・モバイルリサイクルの経済性とビジネスモデル」など４講演と、REモバイルリサイクル実証センターの見学会が行われた。講演の中で河邊氏は「ネオジム磁石スクラップは高品位なネオジム、ジスプロシウム鉱石。レアアースのモバイルリサイクルは十分採算が合う。この事業化には国内外関連企業との連携が必要」と語った。



河邊憲次氏の講演模様

鉄リサイクルの総合企業
ISO14001認証取得
※製鋼原料部●1250トンギロチン新設稼動
各種解体発生物・一般鉄スクラップ・新断スクラップ
鋼ダライ粉・その他あらゆる工場発生スクラップ
※鋳造原料部
可鍛コロ・故銑・メカス・ポンチ・その他
―持込みから大・小にかかわらず引取りも歓迎します。―
新生産業株式会社
本　社 三重県員弁郡東員町中上760
工　場 ＴＥＬ 0594－76－4555(代)
ＦＡＸ 0594－76－4556

トータルリサイクリングマネージメント
［ギロチンシャー・プレス加工］
K.H 平田工業株式会社
TEL：052－653－4141(代)
FAX：052－652－6354
〒454-0056
本社工場：名古屋市中川区十一番町5-6
第二工場：名古屋市中川区十一番町6-6
弥富埠頭：弥富市楠三丁目19
西三区　ＴＥＬ 0567－66－5175
ＦＡＸ 0567－66－5176